いしかわ労福協

第 565 号　2015年2月25日
発　行　所　石川県労働者福祉協議会
発行責任者　狩山　久弥
編　集　人　上野　貞彦
〒920-0024　金沢市西念3丁目3番5号
電話（076）231-1737
FAX（076）231-1731
http://www.ishikawa-rofukukyo.jp
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行

第38回石川労福協研究集会
社会保障制度改革で私たちのくらしは…

狩山理事長

労福協は、２月２日(月)金沢市西念一丁目の労済会館大ホールにおいて、連合石川、事業団体、地域ライフ・サポートセンター、労福協役員等71名が参加して第38回研究集会を開催した。

狩山久弥労福協理事長は、「経済、情報はグローバル化したが、民族や宗教観の違いによる紛争は一向に止まることが無く大切な命が多く失なわれていることに危惧している。また、グローバル経済により富裕層偏重が強く、格差拡大を更に進行する結果となっている。今こそ協力し合う社会の実現が重要であり、労福協が求める「人と暮らし環境に優しい福祉社会の実現」の理念が通じるよう運動を継続したい。」と挨拶し、浅野正労福協専務理事が「労福協事業の現状」として、労福協事業の取り組み状況を報告したほか、労働者福祉の向上のために石川県をはじめとする県内全市町に対して要請した政策制度要求の内容を説明した。

曽我准教授

講演では、金沢星稜大学の曽我千春経済学部准教授が「社会保障制度改革からみえる私たちのくらし」と題して、本来の社会保障制度を説明した上で、「今般の法改正では国の負担増を避けるために『受益と負担の均衡』とした聞こえの良い言葉でまとめ、社会保障の有り方が根本から変更され、本来、国が担うべきことを地方に移し、さらに国民のボランティアに頼ることに重きを置くある意味『ボランティアの義務化』とすることが謳われている。社会保障制度改革への対抗策として、若者、現役労働者、高齢者が団結することが必要だ。」と唱えた。

最後に中村栄一労福協副理事長が「働く人をはじめとする生活者が暮らしやすい社会にするためにも労福協運動に協力を願いたい。」と閉会を宣した。

第7回ろうふく"むすび"ネット 婚活支援事業

労福協は、２月７日(土)第７回ろうふく・むすび・ネット「恋を見つけて Happy-Valentine 2015」ランチパーティーを金沢市鞍月にあるイタリアン・フレンチ「ル・クリマ」で開催した。

参加対象は、石川県内在住の 28 歳から 43 歳までの働く未婚男女各 20 名として募集したところ、応募者数が過去最多の男性 58 名、女性 43 名、合計 101 名となり、抽選で男女各 20 名合計 40 名を決定した。

パーティーは、上野貞彦事務局長の主催者挨拶に続き１対１の自己紹介タイムに入り、終了後、男女それぞれに、もう一度話をしたい相手を選んでもらう中間投票を行った後、ビュッフェ形式でのランチタイムに入り美味しい料理をいただいた。そして、今回、男女がなるべく多く話が出来る環境づくりとして、４対４のグループトークを新しく取り入れ、また、グループトークのお題も準備し、自然と会話が盛り上がった後、最後の完全フリータイムで意中の人へのアプローチに会場は活気付いたところで、最終の投票とした。

投票集計中に上野事務局長が、昨年、労福協の婚活行事でめでたく成婚したカップルから頂いたメッセージの紹介や労福協事業の PR をした後、投票結果発表がアナウンサーから紹介され、４組のカップルが誕生することとなった。今後も素敵な交際が続き、それぞれの思いが叶うことを願うばかり。

アンケートには、男女それぞれから、「料理がとても美味しかった」と多数のコメントがあり、参加者には満足して頂いたようだった。２月初旬にも係わらず晴天の一日に恵まれ、和やかな催しとなった。

ライフ･サポートセンター活性化委員会

労福協ライフ・サポートセンター活性化委員会は、１月 29 日(木)に第４回を２月９日(月)に第５回の委員会を開催し、この間の検討やライフ・サポートセンター研修会における意見を踏まえた提言を取りまとめた。

委員会は、地域ライフ・サポートセンター設立後 10 年を経過し、この間の取り組みを省みて見直しなどが必要な点や課題について、各地域 LSC や北陸労働金庫石川県本部、全労済石川県本部からの聞き取り調査、精査、協議などを進めてきた。

まだまだ、課題は山積すると思われるが、現段階における取りまとめを提言書として、労福協理事会に上申することとし、今般の活性化委員会における役目を終えた。

今後、この提言は、理事会における協議を経て、次年度以降のライフ・サポートセンターの活動に反映していき､新たな役割を担うライフ･サポートセンターとして展開することが期待されている。

これからの行事予定

（2 月 25 日現在）

開催日	曜日	行　事	会　場
2月26日	木	中部労福協 第４回代表者会議（～ 27 日）	和歌山市
3月2日	月	第 11 回ライフ・サポートセンター代表者会議	フレンドパーク石川
5日	木	全国会館協 平成 26 年度第２回幹事会（～６日）	松山市
9日	月	中央労福協 第３回地方労福協会議（～ 10 日）	京都市
11日	水	中部会館協 2014 年度第３回幹事会（～ 12 日）	岐阜市

ライフ･サポートセンター事務担当者研修会

石川労福協ライフ・サポートセンターは、1月21日(水) ANAホリデイ・イン金沢スカイにおいて、第13回ライフ・サポートセンター事務担当者研修会を開催した。

9地域のライフ・サポートセンター事務担当者及び主催者事務局が参加し、本年度仮決算、次年度予算案の作成など年度末に向けての事務処理について、事務局の各担当者から説明を受け、質疑応答を踏まえ、年度末への取り組みに備えることができた。

石川県勤労者互助会 映画鑑賞会

1月17日(土)ユナイテッド・シネマ金沢(金沢市高柳町)において、石川県勤労者互助会会員交流「映画鑑賞会」を開催した。

上映作品として大人気の「妖怪ウォッチ」を企画したところ、県内全域から305家族968名(子ども含む)の申し込みがあり、急遽、鑑賞者数を拡大したものの抽選での鑑賞者選びとなった。

当日は、天候が心配されたが、120家族355名が参加し、心ゆくまで楽しんだ。また、子どもにはダークニャンメダルがプレゼントされ大はしゃぎで喜ぶ光景もみうけられた。

なお、当日参加家族に「会員情報誌／ろうきん Voice」、ろうきん･全労済チラシを配布した。

勤労者互助会事務局長　今西　十曜治

食みどり水NW定期総会･海外支援米発送式

食とみどり、水を守るいしかわネットワーク(食みどり水NW)は、2月8日(日)フレンドパーク石川において、第9回定期総会及び海外飢餓支援米発送式を開催した。

定期総会には、協力団体及び役員等約25名が参加し、宅本門示幹事が議長となり議事を進行した。狩山久弥代表の主催者代表挨拶に続き亀喜正事務局長の提案による2014年度活動報告及び会計報告、2015年度活動方針及び予算について、全て提案どおり承認された。

最後に2015年度役員について満場一致で承認し定期総会を終えた。

引き続き行われた海外飢餓支援米発送式を、フレンドパーク石川玄関口で行った。

発送式には、海外飢餓支援米の取組みに賛同する民主党石川、社民党石川、金沢市議、支援米の田植えから稲刈りまで実際に取り組んだ子どもを含む関係者等約40名が参加し、狩山代表や盛本芳久県議会議員、山本由起子・麦田徹両金沢市議会議員の挨拶の後、亀喜事務局長が支援米の取り組み経過について報告した。その後、子ども等が書いたメッセージを米袋に貼り付け輸送船のある横浜港に向け発送された。

発送式に続き、支援米の取り組みで収穫した米の一部をおにぎりにして、参加者全員で食し、収穫の喜びを味わった。

なお、今年の取り組みとしては、能登町、七尾市、小松市、金沢市の計4ヶ所において作付けし1,140kgを収穫、すべてNGOマザーランド・アカデミィーを通じ、アフリカのマリ共和国に向け発送することとなった。

勤労者早春書画・生花展　新春を書と絵と生花で彩る

勤文協(石川県勤労者文化協会)は、1月29日(木)から金沢21世紀美術館市民ギャラリーAで「第45回石川県勤労者早春書画・生花展」を開催した。

この展覧会は、石川労福協と北國新聞社が後援して2月1日(日)までの会期で行われたもので、県内の勤労者などのアマチュア作家による日本画、洋画、書道の作品112点が展示された。

また、草月流、池坊流の華道家が、会場に15点の生花を添え、一層の彩りを加え華やかな催しとなった。

洋　画

勤文協会長賞
「夜明けの富士」
澤田　幸男(金沢市)

労福協理事長賞
「めで鯛いよ」
能任　伸子(かほく市)

北國新聞社長賞
「月明 モンサンミッシェル」
浜谷　豊久(内灘町)

招待奨励賞
「旨し秋」
長谷田規子(金沢市)

金賞
「おひるねの夢」
高山　静子(津幡町)

銀賞
「懸け橋」
西村　光(金沢市)

銅賞
「高山の女王、駒草」
西井健太郎(金沢市)

日本画

労福協理事長賞
「秋美味」
中橋　溥介(小松市)

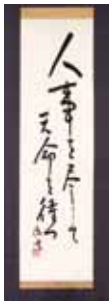
北國新聞社長賞
「冬に咲く」
毛藤東紀男(金沢市)

書　道

労福協理事長賞
「閑雲野鶴」
赤田　澄子(金沢市)

北國新聞社長賞
「坂上是則の唄」
上野　幸流(金沢市)

招待奨励賞
「輝」
角秀嶺(秀子)(金沢市)



金賞
「人事を尽して天命を待つ」
髙井　治(金沢市)

銀賞
「筆硯得佳友」
宇野緋紗子(金沢市)

銅賞
「満堂和氣生嘉祥」
上尾　勝則(金沢市)

生　花

中村雨光(草月流)
小林嶺智(草月流)

白山・野々市LSC

「秋の文化教室」

白山・野々市 LSC は、12 月 13 日（土）会員相互のふれあいを大切にした文化活動として「秋の文化教室」を開催した。この文化教室では、例年“各家庭の内に一輪の美しさ”、“花への想い”を題材に「鉢植え」を実施しています。

教室には、主婦ら 37 組の方々が参加し、それぞれの想いを鉢に込めて制作しました。

主催者挨拶に続き、川端園芸店による親切な解説と作り方指導の後、制作に取りかかりました。中にはクリスマスケーキに負けないように可愛い仕上げや、お正月用にと竹をモチーフに玄関置き用と工夫を凝らした鉢植えが見られたことに加え、楽しい会話と共に歳の瀬を前に出来上がった鉢植えを大切に持ち帰りました。

「地域支援」

毎年地域のボランテア活動として地域の「クリーン作戦」等を行っていたが、近年実施された環境整備に伴い、これに代わる活動はないかと役員会にて協議したところ、過去実施して好評だったウエス（工場などでの油拭き）材料を収集することに決定し、約 2 カ月間にわたって提供を呼び掛けたところ、60kg が収集されました。

季節の変わり目だったこともあり、予想以上に持参いただき、社会福祉法人松の実園に寄贈した。取り組みの成果にホッとしたと同時に、同施設長奥村氏より、子ども達からの感謝の礼状を頂きました。リサイクル作業を通じて社会貢献をめざし自立にがんばっている人たちに少しでも寄与することができました。

「2015 新春の集い」

白山･野々市地域 LSC 新年は、1 月 14 日（水）の「新春の集い」からスタートします。参加者も事業の内で最も多く毎回 270 ～ 300 名の方々に楽しんでいただいています。

当日の白山市松任学習センターには、プログラムを片手に新春らしく和やかな顔・顔・顔が幕開けを待ちます。

最初に「白山警察署･白山一座」による寸劇「交通安全・防犯対策」は、笑いの中にこれからの生活に近い対話が婦警さんによって楽しく演じられたほか、創作舞踊「あきの会」による正月らしい舞踊の披露は、拍手喝さいでした。

浅野正労福協専務理事、連合石川かが地協の小杉昭夫氏による来賓祝辞と山田憲昭白山市長・粟貴章野々市市長からのメッセージが披露され、第三部の福引抽選会には、地場産の景品が一杯出され、会場全体が一喜一憂する様相で笑いの渦となりました。

本年も「良い年でありますように」と願いを込め、前田俊彦労金松任支店長の閉会あいさつで幕が下りました。各自手提げにお土産と労金・労済のパンフレットもしっかり入れての帰宅となりました。

白山・野々市 LSC 会長　油　省三

金沢ＬＳＣ

2015年NEWYEAR旗開き

金沢地域ライフ・サポートセンターは、1月9日(金)労済会館において、連合石川かなざわ地協との合同で230名の参加により、新たな年の出発点として「2015年NEWYEAR旗開き」を開催した。

かなざわ地協福田議長・金沢地域LSC綿会長による旗開きに続き、福田議長が主催者挨拶をし、続いて来賓の連合石川会長狩山久弥氏、金沢市経済局長八田誠氏からの挨拶がされ、金沢地域LSC綿会長の地元酒での乾杯で始まった。

かなざわ地協推薦議員、北陸労金石川県本部長、全労済石川県本部長、石川労福協専務理事、石川労信協理事長のスピーチに続いて、人気の“福引き”が行われ、会場は大いに盛り上がった。最後に、福田議長の音頭で“団結ガンバロウ”三唱で締めくくった。

金沢地域LSC事務局長　今西　十曜治

河北ＬＳＣ

河北地域ライフ・サポートセンターは、２月14日(土)かほく市消防本部において、石川労福協創立50周年、河北地域LSC設立10周年の記念事業として、普通救命講習会を参加者19名で開催した。

初めての取り組みであり、かほく市消防本部と相談しながら開催に漕ぎつけた。

受講者の募集は、かほく市の広報への掲載と他団体の会合でのチラシ配布などを実施したことで、一般の方も加わり、19名の参加となった。

講習は、初めにかほく市消防本部の方からDVDを使って心肺蘇生法の説明がされた後、人形を使って胸部圧迫の仕方、人工呼吸の仕方、そしてAEDの装着の仕方を一人一人が納得するまで体験することができた。

実際に救急救命の場に遭遇したときに、講習のとおり対応できるか不安が残りますが、講習を継続開催することで、一人でも多くの方に万一に備えてもらえるようにしたいものです。

河北地域LSC　吉川　武久

加賀ＬＳＣ

第30回写真展

加賀地域LSCは、２月２日(月)～２月７日(土)の期間、JR加賀温泉駅前の平和堂アビオシティ1Fセントラルコートにおいて、第30回写真展を開催した。

会場に展示した作品は、昨年12月23日(祝・火)に写真家中川宏治氏を招いて講評を受けるとともに、同氏の審査により優秀作品に選ばれたものを含めた計58点で、どれも力のこもった作品ばかりであった。

30回を数える写真展では、展示作業中にも係わらず、多くの買い物客が足を止めて見入っていかれるほど、惹きつける優秀作ばかりであることが伺われた。

この活動を通して、今後もライフ・サポートセンターの活動をアピールしていきたいと思う。

加賀地域LSC　事務局長　永井　達也

勤　体　協

第49回県勤労者冬季体育大会

≪卓球大会≫

２月１日・金沢市総合体育館

【硬式】
◇男子
　▷１組①S-55②宝町クラブ③木曜会B、小松卓球協会
　▷２組①四十万クラブ②档の会A③木曜会A、ぬかクラブ
◇女子
　▷１組①NOTOヤンキース星②ウィンズ星
　　③勤体協A、フェリース小松加賀
　▷２組①NOTOヤンキース月②ネクサス
　　③档の会A、金沢ドリームA
【ラージ】
◇シルバー(合計年齢160～239歳)
　▷男子①ななおクラブ②白山クラブ③金沢大浦公民館
　▷女子①金沢大浦公民館②能美クラブ③ななおクラブ
◇ゴールド(240歳以上)
　▷男子①白山クラブA②能美クラブA
　　③南加賀クラブ桜、ななおクラブ
　▷女子①内灘クラブ②白山クラブ
　　③南加賀林クラブ牡丹、七尾スターズ

≪バスケットボール大会≫

２月８日・野々市市民体育館

◇女子１組　①FRESH②CielBlue③CHOCOLATS

≪バスケットボール大会　第２日≫

２月15日・金沢市営中央市民体育館

◇男子１組　①FLYHIGH②DISCOVERY③金沢市役所

※この機関紙は再生紙を使用しています。